

令和6年度

「探究的な学習プラン」
の授業実践

感想文

津市立橋北中学校

2024年12月4日(水)

★★★縣 愛心★★★

○感想

・三角形の内角の和が一八〇度であること、理由を先に言うことで、四角形の内角の和が三六〇度であることを三角形を使って生徒は求めることができているのでそこを教える授業の流れとして勉強になりました。

・図形のプリントを用意することで実際に動かして敷き詰められるか楽しそうに確認できていたので数学的活動の1つとして参考にしたいと思えます。

○気づいた点

・はさみを持っていない人がいるとグループは他に比べて進度に差が生じてしまっていたので、事前に持つてくることを伝えるか、こちらでも準備をしたほうが良いと感じました。

・当日の朝まで今日何をするのか情報共有が無かったため、自分は何も準備や手伝いをしなくても良いのかわからなかったです。

★★★岡崎 一葵★★★

・対辺の midpoint を引くところで対角線を引いている生徒が多くいたと感じた。

・模擬授業の指導案で児童や生徒の予想される反応を書くが、現場では、全く予想していない方向からの質問などあったので、色々な対応の仕方を準備しておく必要があると感じた。

・生徒一人ひとりの個性を実感した。また、一人ひとりへの対応の仕方は臨機応変にしていく必要があると改めて実感した。

★★★北川 翔大★★★

【改善点】

・「紙を切る」「線を引く」の作業だけでもスムーズに行うことができない子どもが多かった。
・作業時間が長くなり、遊びだしてしまう子どもたちもいたため、敷詰め説明や最後のまとめの話を聞いていない子どもが多かった。

↳ 予め紙を切っておくこと、線を引いておくことが必要だった。

・ハサミを持っていない子どもが多く、各班の作業進捗度にかなり差があった。

↳ 予めハサミを用意しておいてほしいことを伝えること、またはこちら側である程度ハサミを用意しておく必要があった。

【気づいたこと】

・正答と異なる答えが出ていた時に、単に「それは違うよ」というのではなく、

「どうしてそのように考えたのか」

と問うことで、その子がどこで躓いているのかを把握することができることに気が付いた。

↳ これによって、やる気をそぐことなく正答にたどり着くように導くことができるのではないかと感じた。

・今回は「上野先生の手伝い」「大学生」という立場での参加だったため、生徒をやる気にさせる

ような声掛けをするだけで良かったが、いざ教員になって、生徒を叱る必要があるときにどうしたらよいのかわからなくなった。

【最後に】

本日は実際に教育現場を見るという貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。子どもたちのリアルな発語や反応を体験することができ、改めて教員になることの責任を感じました。本日の経験も要素にし、子どもたちへの対応や指導の軸を自分の中で形成していき、色々な人と議論し深めていくとともに、今後、教育実習が控えているためその際に実践してみたいと感じました。

ありがとうございました。

★★迫越 暖斗★★

自分は今いろんな授業で模擬授業をやっている、児童の考えや発言の予想をしながら指導案を書いていて、小学校と中学校で全く違うかもしれないが、実際の授業を見て、体験したことで実際の子どもたちの反応をすることができ、とてもいい経験になった。

授業が始まって、生徒たちの授業に対する積極性に驚いた。上野先生の発問に、生徒らは各々が発言していた。自分は中学生だからもっと黙ってめんどくさいなって思いながら受けるのかなって思っていたのでとても驚いた。生徒らに「なんでここに線引いたん？」や「なんでそうなると思ったん？」と聞いて回ったとき、しっかりと自分の意見や考えを持っていて、自分の言葉で話しているすごいなって感じた。

グループワークではほとんどの生徒がお互い協力して、自分たちで意見の交流をしっかりと行っていてすごいなと思った。すごいなと思うことの多かった中で、不安も感じた。自分の世界にはいない子や、グループワークに参加しない子、まったく違うことをやっている子などがいて、自分が将来教員になったときそういう子たちをみんな同じ方向を向いて授業に参加させられるのかなと思った。生徒に「答え教えてよ」と言われたとき、どういうヒントを教えてあげたら生徒の考

えが深まるのかと悩んでうまくヒント言えなかった。

今回の出前授業に参加させてもらって、実際の教育現場の空気に触れることができ、とてもいい経験になった。その中で自分の中でいろいろと考えさせられる場面も感じたのでこれから活かしていきたい。

★★田中 一輝★★

今回の数学の講演会で、現在の中学校の様子などが見る機会をいただき授業ではなかなか学べない実際の生徒とのコミュニケーションをとることの難しさなどについて知ることができました。生徒たちのひらめきのよさ、丁寧に解こうとする姿はとてもいいと感じ、また、わからないときに質問する様子にとっても感動しました。

生徒たちがどんどん手を挙げて発言する姿や積極的に話し合い活動をする姿が見られ、自分自身への刺激になりました。こんなに積極的に発言する生徒がいるのは、しゃべりやすい環境が作られているからだろうと感じました。特に緊張をしながらマイクを間違えていた子がいた時、笑いが起きていたが、話し始めたら静かになっていた様子が見られ、すごいなと感じました。

中学生は成長段階でまだ幼く感じた生徒、逆にとても大人だなと感じる生徒、思春期で壁があるなど感じる生徒、様々な生徒がいたような気がしました。二限分という短い時間だったが関わっていくうちに話ができいくことができよかったです。思春期の中学生と関わり方などを考える機会はあったが実際に関わる機会がないため貴重な機会が得られてよかったです。実際に関わってみて少し壁のようなものが感じられたし、それをうまく崩していくあげることが大切なのかな

と思い、教員になった時、その部分を意識して頑張っていきたいなと思いました。

今回、中学生と関わる機会を頂けたことで、教職への目標が再確認することができました。ありがとうございました。またの機会があれば参加させていただきたいなと思います。

★★豊田 れのん★★

班によって異なる考え方や意見が沢山あり、私自身とても勉強になりました。ある班では、友達の意見を参考にしつつ、自分たちなりの答えを導きだしていました。生徒たちが楽しく活動しており私も一緒に考えることを通して学び合うことが出来て大変貴重な経験となりました。

ハサミで切る作業の途中で本来の目的や前半で習った内容を見失ってしまう生徒もおりましたので、事前に切ったものやロイロノートで形を用意しておく和良好的かなと感じました。前のモニターで様々な意見を見ることが出来るのがとても良いと感じました。班の子達にどうしてその考えに至ったのかを尋ねた時に自分の言葉で私たちにロイロノートや切り取った形を工夫し、一杯伝えようとしてくれたことがとても嬉しかったです。

★長谷川 怜哉★

先日は出前授業ありがとうございました。
今回、私は配布した画用紙の図形の作成をさせていただきました。授業の後半から最後まで生徒さんが積極的に楽しそうな姿を見て、私自身作った甲斐があったなと思うばかりでございます。
また二月に出前授業の機会をいただけることで、上野ゼミ一同準備を進めてまいります。
ありがとうございました。

★堀口 歩夢★

プリントの配布に時間がかかってしまった為、事前に準備しておくスムーズに進められたと感じました。
はさみを持っていなかった生徒がおり、グループによって進度がバラバラだった為、はさみを持つてくるように事前に指示すると良いと思いました。
生徒の発言が予想していないものもあり、新たな考え方を取り入れることができました。勉強になり、いい経験になりました。

★村田 友哉★

私は、今回の数学の講演を終えて、今の教育現場の子どもの実態が把握でき、実際に子どもたちが学びを深めて学びを楽しんでいる姿に自分自身も刺激をもらいました。実際の話し合い活動の中で、子どもたちが意見を出し合い、自分の意見を伝えて、他の意見を聞くことなど理想的な学びを深める授業だったので子どもたちの姿勢に感動しました。

また、考えさせる問いに対して、発表出来る子どもが多くその意見を基に私たち自身も考えさせられました。本当に学びに取り組む姿勢が素晴らしく、とても感動させられました。私自身としては、もつと子どもたちと積極的に関わりを持ち、より子どもたちに学びの深い発問を投げかけられるようになりたいです。実際に子どもたちと関わる中では、答えを言ってしまうようになりそうなのがあります。なので、うまく誘導していく必要があると考えさせられました。

今回の講演では、子どもたちの学びも深められたように感じたが、それ以上に私自身の刺激になる上で、沢山辛いこと苦しい事もあると思います。改めて子どもたちと関わることへの楽しさを知ることができ、教師になりたいと強く思いました。本当にこのような機会を作って頂きあり

がとうございました。

★山路 彩生★

・体育館での授業ということでのどのように成立させていくのか気になっていました。意見の共有やテキスト配布という面でロイノートの良さが出ているなど思いました。ロイノートに、生徒の発言や上野先生のコメントをすぐに書き込み全体にフィードバックするという工夫をなさっていたことが印象深いです。黒板への板書や発表だけではできないことだと思います。

・私たち大学生が中学生の時はなかった数学探究という分野の授業を見させていただく貴重な機会になりました。私が知っている中学校の数学の授業とは違い、生徒が意見を交わし、「どういうこと？」や「こういう場合はどうなるの？」など、数学に対して前のめりになる瞬間が多く、大雑把な言い方にはなるのですが「いい雰囲気だなあ」と感じました。私も驚くような見解を述べる生徒もいて、口頭だけでなくぜひ紙に書いてみんなに共有してほしいほしい！と思う場面も多かったです。

・最後の、複数の図形を用いて敷き詰めを行う時間で、時間が少なかったこともあるのですが、合わせて三六〇度にするという考えがあまり浸透していないかもしれないと思いました。巡視してその都度伝えてはいたのですが、図形の切り方によって角度が微妙に変わってしまい、本来敷き詰

めを行うと隙間が空いたり重なりが生まれたりする場合でも、できてしまうことが少し起きていました。もちろん本質をしっかり理解して敷き詰めを行えている生徒も多かったです。

ロイノートで図形を配って行うという方法なら解消できるかもしれないと思いましたが、今回は出前授業ということで、上野先生自身が橋北中学校生徒のアカウントと共有する必要があったため難しいという考えに至りました。

改めまして、誠にありがとうございました。参加させていただけてとても嬉しかったです。非常に学びの多い、濃い時間になりました。

★★渡邊 健翔★★

今回の講演会を通して感じた事は、中学生つてとても素直だということです。

先生の発問に対して思ったことをすぐに発言できることがすごいと思いました。

今回難しかったのはグループ活動で交流に入った際、正解を導くための効果的な助言をすることでした。グループの中でも理解度が異なるので理解できている生徒を上手く活用しながら交流を手助けすることが難しかったです。

今回学んだことは、大勢の集団を広くみる視点です。グループを広く見渡して、上手く紙を敷き詰められているグループを見ついたり、いい発言、行動をしていたグループに意見を聴きに行ったり、このような機会がないと経験できないことを学べました。

今回はありがとうございました。二月もまた参加したいと思っておりますので、宜しく願います。